

目次

プロローグ——人間改造の超技術

「苦行」と「瞑想」..... 8

『スッタ・ニパータ』..... 10

第一篇 原理篇

第一章 運と力量..... 18

秀吉と官兵衛 権兵衛と平八郎 能力も

また運か？

第二章 「選択」の論理..... 27

三つの「選択」 なにが「選択」するのか？

意識しないところ 自分のなかのアカの他

人 「無意識」の探求 無意識の意識と

求聞持法 フロイト以前の無意識

第三章 随眠という名の無意識層..... 69

業と随眠 『俱舍論』にみる「業」 「業」の

三種のはたらき 「業」の力の媒体 随眠

の種類と性能 煩惱・随眠・纏 根本十随

眠 随煩惱 随煩惱解説 煩惱と随眠

第四章 仏陀の教法..... 110

それはアーガマから始まる アーガマ以

降の仏教 アビダルマ論書 さとりに至

る三十七の修行法 四つの聖なる真理

縁起の法 三十七菩提分法 人間の改造

法 解脱瞑想門と求聞持瞑想門 戒学・

定学・慧学 三明六通

第二篇 実践篇

第一章 七つのカリキュラム..... 160

七つの訓練課程 クンダリニー・ヨーガの

導入 密教占星術と運命

100

第二章 アビダルマにみる修行法……………171

五位七十五法 大善地法 見道と修道

第三章 火界瞑想から求聞持瞑想へ……………185

行動心理学と密教占星術 準胝尊千座行

火界定 欲界定から第四禪へ 氷の心・

燃える脳

第四章 苦行と瞑想……………202

苦行と瞑想 運の改造

### 第三篇 教理篇

第一章 仏教の源流……………218

仏教のルーツ 悲運の聖典『阿含経』

經典の運命 まちがっていた「五時教判」

第二章 新・五時教判……………236

第一時 アーガマ仏教時代(阿含経を中心と

した時代の仏教) 第二時 アビドン仏教

時代 第三時 実相空大乘時代 第四時

唯識大乘時代 第五時 金剛大乘時代

第三章 根本二大分裂……………253

大衆部の独立

第四章 大乘仏教の成立……………264

仏陀の慈悲 龍樹の空論 初期大乘の諸

經典 空の論証法と中道

第五章 大乘仏教の展開……………286

第三のグループ 中期大乘の諸経論 大

乗の二つの流れ 中期大乘の没落

第六章 大乘仏教の終焉……………304

『大日経』の成立 密教の盛衰 後期大乘

の消滅 真の「修行法」 「救いから」さ

とりへ 仏陀からの再出発

おわりに……………322